

## 第1号議案—1

### 品質保証研究会 平成25年度活動報告

#### 1. 活動状況

(1) 平成25年度の活動は、第23回通常総会で承認された活動計画に基づき展開し、所期の成果を収めることができた。

番号	項目	内 容		回数
1	通常総会	第23回通常総会の開催		1回
2	品質保証研究会全体活動	会員相互間の啓発	講演会	1回
			見学会	1回
3	QASGニュースの発行	会員の活動状況や、品質保証に関する情報交換	第79号～81号	3回
4	定例研究会活動	グループ毎にテーマを定めての品質保証に関する調査・研究活動と会員への成果提供	第1グループ	6回
			第2グループ	3回

(2) 平成25年度品質保証研究会の活動実績を表1に示す。

#### 2. 活動要約

平成25年度の活動要約を表2に示す。

## 表1 品質保証研究会 平成25年度活動実績

○・▽：計画 ▼：実績

表2 平成25年度 品質保証研究会 活動要約(1/2)

番号	項目	日時・場所等	参加人員	内容	
1	第23回 通常総会	平成25年6月4日(火) 学士会館 3階320号室	50名 (他、委任状35名)	(1)議案審議 ①平成24年度活動報告・会計報告の承認 ②平成25年度活動計画・予算案の承認 ③会則の一部改訂の承認 (2)定例研究会活動状況報告、特別講演	
2 講 演 会	特別講演	平成25年6月4日(火) 学士会館 3階320号室	71名	組織論のこれから 高木晴夫氏〔慶應義塾大学 大学院経営管理研究科〕	
	第41回 講演会	平成26年4月8日(火) TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター(8F)8E室	50名	航空業界におけるSafety Management System 田中龍郎氏〔全日本空輸株式会社 執行役員 総合安全推進室長 兼 安全推進センター長〕	
3	見 学 会	第39回 見学会	平成25年11月15日(金) AGC旭硝子 AGCモノづくり研修センター	25名	実際の工場とほぼ同じ設備や装置を使いながら、危険等の体感学習状況など
4 定 例 研 究 会	第1 グループ (リーダ: 武田博文 幹事)	<p>【研究テーマ】 品質システムの研究「原子力QMSのあるべき姿に関する研究 —セクタ規格の調査・研究—</p> <p>【研究の内容】 原子力 QMS のあるべき姿を追求するため、セクタ規格の調査、及び原子力 QMS として取入れるべき要求事項の検討として以下を実施。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. セクタ規格の調査 自動車／医療／航空宇宙業界のQMSに関するセクタ規格の要求事項について、ISO9001:2008との比較調査を行った結果をもとに、原子力 QMS として取り入れるべき要求事項を明確にした。</li> <li>2. 原子力 QMS のあるべき姿の提言 抽出された各セクタ規格での活動が、原子力業界として実効的な品質保証活動に繋がるかの、また原子力のあるべき姿とは何かについて討議する上で、セクタ規格の調査に加え最新の動向として、 <ul style="list-style-type: none"> <li>a. ISO9001:2015 改定案 (ISO/CD 9001) の調査</li> <li>b. JEAC4111、JEAG4121 附属書-1 の改定案調査、</li> <li>c. IAEA GSR Part2 DS456 改定案の調査</li> <li>d. NSQ-100, JEAG4121-2009, NQA-1-2008 の比較</li> </ul> を行った。また、上記 a 項の調査の過程において抽出された疑義事項は、日本規格協会へ ISO/CD 9001 に対するパブコメとして提出した。 </li> </ol>	<p><u>定例研究会</u></p> <p>平成25年7月31日 平成25年9月25日 平成25年11月19日 平成26年1月23日 平成26年3月10日 平成26年4月22日</p>		
	第2 グループ (リーダ: 氏田会員)	<p>【研究テーマ】 エラーマネジメントに関する調査研究</p> <p>【研究の内容】今年度の研究テーマは大きく二つ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 福島第一事故の総括 <ol style="list-style-type: none"> <li>1.1 福島第一事故の分析と評価 <ul style="list-style-type: none"> <li>・福島第一事故時テレビ会議分析(中西先生)(第1回)</li> <li>・福島第一/第二事故時対応比較分析(吉澤氏)(第2回)</li> <li>・福島第一事故時緊急時対応 RE/HRO 分析(来年度予定)</li> </ul> </li> <li>1.2 安全思想の再構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>・原子力の自主的安全性向上論点(原子力政策課)へのコメント、なぜそうなったかの視点で分析(第3回)</li> <li>・確率論的安全評価(PRA)の日米比較分析(第3回)</li> <li>・安全思想の再構築工程検討(来年度予定)</li> </ul> </li> </ol> </li> <li>2. EM研昨年度検討テーマの継続 <ol style="list-style-type: none"> <li>2.1 Resilience Analysis Grid(RAG)の詳細化(第1回説明) /各社の検討結果(第3回)</li> <li>2.2 良好事例の分析:アポロ13号(第1回) ハドソン川不時着・ハヤブサ帰還(第3回)</li> </ol> </li> </ol>	<p><u>研究幹事会</u></p> <p>平成25年11月1日 平成26年1月21日 平成26年5月7日</p>		

表2 平成25年度 品質保証研究会 活動要約(2/2)

番号	項目	内容	
5	QASG ニュースの発行	(1) 第79号 平成25年8月 (2) 第80号 平成26年1月 (3) 第81号 平成26年5月	①第23回通常総会報告 ②第1・2グループ活動計画 および活動報告 ③平成25年度役員紹介 ④第41回講演会報告、他
6	幹事会	上記諸活動の計画・推進または支援のため、必要な都度、幹事会を開催した。 (幹事会：第152回～第157回の計6回開催)	